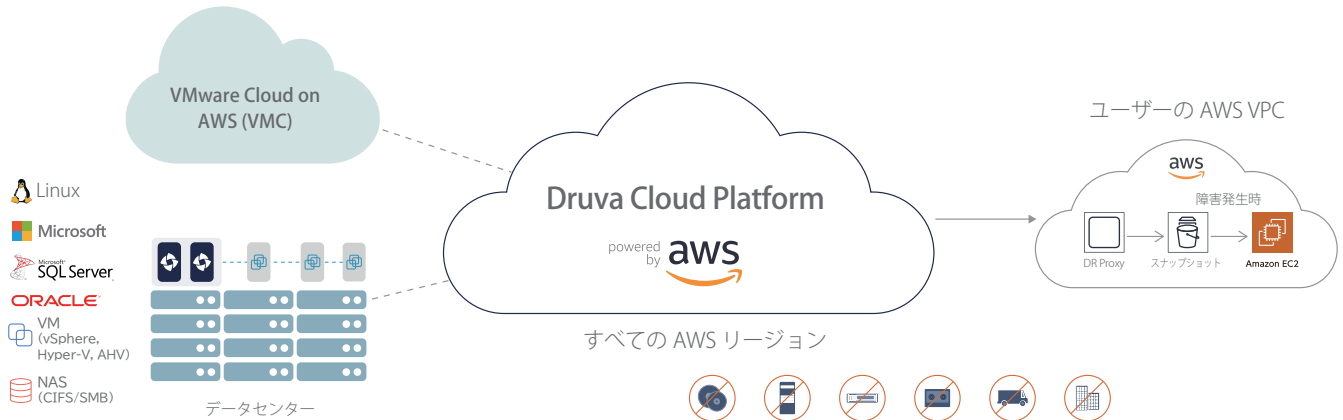
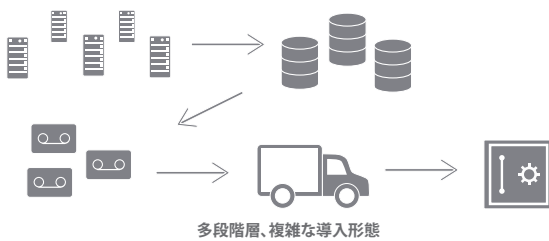


物理サーバー、仮想マシン、NAS、DB のデータ向け 業界唯一の SaaS 型データ保護ソリューション

「Druva Phoenix (ドルーバ フェニックス)」は、100%クラウドネイティブに構築された統合クラウドバックアップ / アーカイブ / DR ソリューションです。事業継続性の SLA (RTO/RPO) を満たしながら TCO を最大 50% 削減できます。ハードウェアやソフトウェア不要で、数分でバックアップを開始できます。

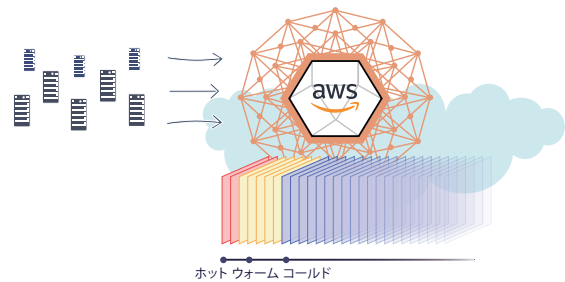


従来型をシンプルに置き換え



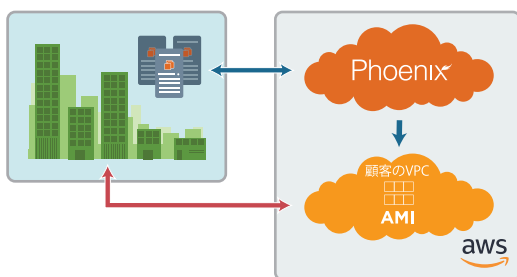
従来型の多層サーバーバックアップモデルは効率が悪だけでなく、エラーが起きやすくメディアの破損リスクも伴います。Phoenix は今日の企業ニーズに合わせて構築された高性能なクラウドソリューションによってテープバックアップや外部保管が不要となり、従来ソリューションの非効率性を排除しデータ保存費用を削減します。

最大50%TCO削減



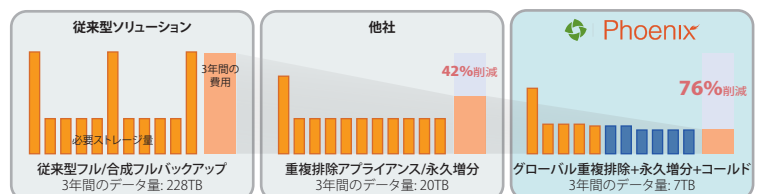
Phoenix はスケールアウト型の AWS クラウド上で構築されており、サイジング不要でいつでも即座に利用開始できます。初回バックアップ以外は常に差分バックアップとなり、特許取得済みのグローバル重複排除技術によりデータを効率的にクラウドへ転送、保存することでバックアップとリストアの課題を克服します。

クラウドベースのディザスタリカバリ



企業がセカンダリデータセンターを管理したり、VMware 環境や仮想マシンが災害に遭った場合のフェイルオーバーを確保するには多くのリソースと費用が必要になります。Phoenix はクラウド上に保存された仮想マシンのスナップショットを使用して、AWS の指定リージョンへ即時にフェイルオーバーを行うことができます。クラウドを活用することでインフラにかかる IT 部門の負担をなくすことができます。

圧縮後の保存データ量のみで課金



1サイト、合計10TBのソースデータ、30日/8週/3か月/3年分保存、年間10%増加量、0.2%の日次変化率で試算

Phoenix はハードウェアやソフトウェア費用が不要で、使用したストレージ量だけが課金対象です。バックアップ対象のサーバー数、スナップショットの数、リストアの回数、保存期間は課金対象にならず、AWS 利用料もすべて含まれるためコスト予測が容易です。従来の定期フルバックアップと比較するとストレージ量を数 10 分の 1 に削減でき、長期にわたるスナップショット保持が可能になります。

サービスプラン

バックアップ、アーカイブ、DR

プラン名	Business	Enterprise	Elite
ファイルサーバーのバックアップ Windows Server と Linux のバックアップ	●	●	●
データベースサーバーのバックアップ MS SQL Server / Oracle のアプリ対応バックアップ	●	●	●
VMware / Hyper-V のバックアップ 仮想マシン (VMDK, VMX, VHDX) のバックアップ	●	●	●
NAS 共有のバックアップ CIFS/NFS による NAS のバックアップ	●	●	●
Snowball Edge 連携 大容量の初回バックアップやリストア	●	●	●
クラウドキャッシュ機能 社内サーバーへの一時的な保存による高速化		●	●
マルチサイト管理のサポート サーバーやバックアップポリシーの論理分割		●	●
マルチリージョンのサポート 複数の AWS リージョンが使用可能		●	●
Cloud DRaaS (ディザスタリカバリ) VMware 仮想マシンを顧客 VPC 上で立ち上げ		オプション	●
データの分析と検索			●

※初回契約には最低 12 クレジット (1TB / 年) が必要となります。 ※料金は年額または更新日までの月数分の一括払いとなります。

Phoenixエージェント

サポートするプラットフォーム (すべて64ビット)	
Windows Server ・ Windows Server 2019, 2016, 2012 R2, 2012, 2008 R2, 2008 ・ Windows SBS 2011	Hyper-V ・ Windows Server 2016, 2012 R2, 2012, 2008 R2, 2008 (Standard およびDatacenterエディション)
Linux ・ CentOS 6.3~7.6 ・ RHEL 6.3~7.6 ・ Ubuntu 14.04, 16.04, 18.04 LTS ・ Oracle Linux 6.8~7.6 ・ SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 11.4, 12.2, 12.4 LTS	VMware ・ ESXi Standard 5.1, 5.5, 6.0, 6.5, 6.7 ・ vCenter Server Standard 5.1, 5.5, 6.0, 6.5, 6.7 (Standard)
SQL Server ・ SQL Server 2017, 2016 SP1, 2014, 2012 SP2, 2008 SP4, 2008 R2 SP3, 2008	Oracle (Standalone / RAC) ・ Oracle Database 12c Enterprise Edition Release 12.0.1.0 ・ Oracle Database 11g Enterprise Edition Release 11.2.0.1.0

ファイルサーバーおよびSQLサーバー向けPhoenixエージェント

ハードウェア	最低要件
CPU	・ 3コア CPU
RAM	・ 仮想マシン上では3 vCPU
ディスク空き容量	3GB ・ Windows ServerまたはLinuxサーバーではソースデータの2%の量をPhoenixアプリケーションデータとして使用

NAS共有バックアップ向けNASプロキシ

サポートするプラットフォーム (すべて64ビット)	
SMB/CIFS ・ Windows Server 2019, 2016 R2, 2012 R2, 2008 R2	NFS ・ CentOS 6.3~7.6 / RHEL 6.3~7.6 ・ Ubuntu 14.04, 16.04, 18.04 LTS ・ Oracle Linux 6.8~7.6 ・ SLES 11.4, 12.2, 12.4 LTS

100% クラウドネイティブなデータ保護ソリューション

柔軟で無制限の保存ポリシー

- ・ ウォームデータ (0~90日) はS3へ、コールドデータ (90日超) はGracierへ自動階層化し、ストレージコストを最適化。AWS費用はライセンスに込み。

最小限のバックアップデータ保存量

- ・ グローバル重複排除: 可変長ブロックのソース重複排除によりユニークデータのみ送信、保存。ストレージと帯域を80%以上削減。
- ・ 定期的なフルバックアップ不要: 永久増分バックアップにより50倍以上のストレージ削減効果

圧縮後のデータで従量課金

- ・ クレジット単位の購入: 1クレジットで1TBを1カ月保存可能
- ・ 将来のデータ増加やリソース使用の見積りも不要
- ・ 使わない分は繰り越し可能。いつでも追加購入可能

業界最高のTCO

- ・ 高価な社内設備やインフラ投資が不要
- ・ 3年間で50%以上のデータ保護コストを削減

クラウド ディザスタリカバリとワークロードモビリティ

- ・ ワンクリックのフェイルオーバーとフェイルバック
- ・ DR用インフラ不要、AMI変換不要、分単位のRTOと1時間のRPO
- ・ リージョンやアカウントをまたいで顧客VPC内にDR可能。本番環境のテストや開発向けにワークロードモビリティを実現

最高のクラウドセキュリティとデータ耐久性

- ・ 顧客による鍵管理不要なエンベロープ暗号化 (AES 256)
- ・ エージェントとクラウド間はTLS 1.2で暗号化
- ・ メタデータとオブジェクトデータは完全分離で保存
- ・ 顧客以外はベンダー (Druva) であっても暗号鍵にアクセス不能
- ・ バックアップ元データごとに保存先リージョンの指定が可能
- ・ 99.5%の可用性、99.99999% のデータ耐久性

セキュリティとコンプライアンスの各種認証準拠

- ・ SOC 1, SSAE 16, ISAE 3402, SOC2, SOC 3, PCI-DSS Level 1, ISO 27001, ISAE 3000 Type 2, HIPAA



Druva合同会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2
 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ 3F
 E-mail: japan-sales@druva.com
 URL: jp.druva.com